



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月2日

上場会社名 株式会社ティラド

上場取引所 東

コード番号 7236 URL <http://www.trad.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 宮崎 富夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理・財務部長 (氏名) 金井 典夫

TEL 03-3373-1101

四半期報告書提出予定日 2019年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	34,055	1.7	1,212	△33.3	1,212	△36.2	545	△43.9
2019年3月期第1四半期	33,498	14.6	1,819	8.0	1,899	△3.0	971	△18.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,029百万円 (406.1%) 2019年3月期第1四半期 203百万円 (△68.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	69.59	—
2019年3月期第1四半期	122.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	94,084	46,060	46.7	5,790.45
2019年3月期	92,929	46,170	47.4	5,537.07

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 43,925百万円 2019年3月期 44,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	40.00	—	50.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	69,200	2.4	2,100	△31.7	2,400	△27.2	1,300	△15.6	163.33
通期	139,200	2.3	4,100	△19.5	4,600	△17.4	1,800	3.7	226.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	8,344,405 株	2019年3月期	8,344,405 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	758,515 株	2019年3月期	384,960 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	7,834,897 株	2019年3月期1Q	7,959,869 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2020年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	12
販売の状況(連結)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経済環境は、世界経済の緩やかな減速を背景に、輸出が伸び悩む一方で、内需が堅調に推移し、底堅さを維持しています。先行きは、中国経済の減速、米中の貿易摩擦や英国の欧州連合(EU)離脱など景気を下押しするリスクが懸念されます。

このような状況の中、当企業集団の売上高(外貨ベース)は、日本、欧州及び中国において減少しましたが、米国及びアジアの増加により、前年同期比で増加しました。営業利益は、アジア及びその他を除き、国内外において大幅な減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、法人税等の減少がありましたが、為替差損等が増加したことにより、前年同期比減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比557百万円増加し、34,055百万円(1.7%増)、営業利益は606百万円減少し、1,212百万円(33.3%減)、経常利益は687百万円減少し、1,212百万円(36.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は426百万円減少し、545百万円(43.9%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

連結子会社の当第1四半期連結累計期間の決算日は3月31日であり、連結財務諸表の作成にあたっては同日現在の財務諸表を使用しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。該当するセグメントは、米国、欧州、アジア、中国であります。

国内3子会社の決算日は連結会計年度の末日と一致しております。該当するセグメントは、その他であります。

セグメント	売上高				営業利益			
	前第1四半期連結累計	当第1四半期連結累計	増減	増減率※ (外貨ベース)	前第1四半期連結累計	当第1四半期連結累計	増減	増減率※ (外貨ベース)
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)
日本	14,896	14,868	△28	△0.2	389	26	△363	△93.3
米国	7,629	8,872	1,243	11.3	271	36	△235	△87.3
欧州	1,114	636	△477	△39.0	△272	△299	△27	△17.9
アジア	4,452	4,602	150	1.0	609	642	32	2.8
中国	5,161	4,875	△285	△3.0	709	562	△147	△18.6
その他 (含む消去)	244	200	△43	△18.0	110	245	134	121.6
合計	33,498	34,055	557	1.0	1,819	1,212	△606	△34.3

※表中の増減率(外貨ベース)は、海外売上為替換算レート変動による差異を補正した場合の増減率です。

① 日本

自動車用売上高は、当社受注機種の販売が堅調に推移したことにより、前年同期比増加しました。建設産業機械用売上高は、中国向け及びマイニング市場の需要減少により、前年同期比減少しました。この結果、当該セグメントの売上高は、28百万円減少し、14,868百万円となりました。

営業利益は、原材料価格の上昇、人件費及び資本再生費の増加等により、前年同期比363百万円減少し、26百万円となりました。

② 米国

自動車用売上高は、新規受注した機種の量産開始等が寄与し大幅に増加しました。建設産業機械用売上高は、農産機向け主要客先の需要増により、前年同期比増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比1,243百万円増加し、8,872百万円となりました。外貨ベースでは、11.3%の増加となりました。

営業利益は、関税引上げの影響によるコスト増加、スクラップ費用の増加等により、前年同期比235百万円減少し、36百万円となりました。外貨ベースでは、87.3%の減益となりました。

③ 欧州

チェコにおいて自動車用売上高について、新規受注した機種^①の量産開始等が寄与したことにより、前年同期比増加しました。空調機器用売上高は、主要客先の取引終了により、前年同期比で大幅に減少しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比477百万円減少し、636百万円となりました。外貨ベースでは、39.0%の減少となりました。

営業利益は、空調機器用売上^②の主要客先の取引終了の影響等により、前年同期比27百万円減少し、△299百万円となりました。外貨ベースでは、17.9%の減益となりました。

④ アジア

自動車用売上高は、二輪がインドネシアにおいて受注機種^①の売上好調により、前年同期比増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比150百万円増加し、4,602百万円となりました。外貨ベースでは、1.0%の増加となりました。

営業利益は、前年同期比32百万円増加し、642百万円となりました。外貨ベースでは、2.8%の増益となりました。

⑤ 中国

自動車用売上高は、現地自動車市場不振により受注が減少したことにより、前年同期比減少しました。建設産業機械用売上高は、主要客先の受注が増加したことにより、前年同期比増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比285百万円減少し、4,875百万円となりました。外貨ベースでは、3.0%の減少となりました。

営業利益は、前年同期比147百万円減少し、562百万円となりました。外貨ベースでは、18.6%の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、たな卸資産及び有形固定資産等の増加により、前連結会計年度末比1,155百万円増加し、94,084百万円となりました。

負債は、買掛金及び長期借入金等の増加により、1,264百万円増加し、48,024百万円となりました。

純資産は、自己株式の取得等により、109百万円減少し、46,060百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より490百万円減少し、13,336百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの増減要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益は減少しましたが、和解金等の支払減少により前年同期比408百万円増加し、1,995百万円プラス、投資活動によるキャッシュ・フローは、支出が前年同期比152百万円増加し、1,767百万円マイナス、及び財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債が増加しましたが、自己株式の取得により前年同期比69百万円減少し、831百万円マイナスとなりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、予定通り推移しており、2019年5月16日公表しました業績予想の見直しは、行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,894	13,397
受取手形及び売掛金	24,742	25,165
電子記録債権	2,589	2,563
有価証券	399	99
商品及び製品	2,714	2,980
仕掛品	734	900
原材料及び貯蔵品	5,370	5,801
その他	2,792	2,712
貸倒引当金	△85	△87
流動資産合計	53,152	53,533
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,389	6,380
機械装置及び運搬具(純額)	15,239	15,762
土地	2,335	2,372
リース資産(純額)	102	545
建設仮勘定	3,457	2,974
その他(純額)	2,117	2,127
有形固定資産合計	29,641	30,163
無形固定資産		
のれん	228	199
その他	1,255	1,410
無形固定資産合計	1,484	1,609
投資その他の資産		
投資有価証券	7,668	7,838
退職給付に係る資産	233	222
繰延税金資産	63	58
その他	704	671
貸倒引当金	△19	△13
投資その他の資産合計	8,650	8,778
固定資産合計	39,776	40,551
資産合計	92,929	94,084

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,280	14,732
電子記録債務	5,340	5,322
短期借入金	8,061	7,795
リース債務	414	482
未払法人税等	658	588
未払費用	2,797	3,501
賞与引当金	1,390	773
役員賞与引当金	84	17
製品保証引当金	235	232
株主優待引当金	48	41
営業外電子記録債務	729	895
資産除去債務	116	116
その他	1,895	1,563
流動負債合計	36,053	36,063
固定負債		
長期借入金	8,368	9,094
リース債務	777	1,066
繰延税金負債	1,324	1,538
役員退職慰労引当金	5	6
退職給付に係る負債	95	120
資産除去債務	90	90
その他	43	42
固定負債合計	10,705	11,960
負債合計	46,759	48,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,545	8,545
資本剰余金	7,551	7,551
利益剰余金	28,315	28,463
自己株式	△901	△1,569
株主資本合計	43,512	42,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	456	545
為替換算調整勘定	△381	△90
退職給付に係る調整累計額	485	478
その他の包括利益累計額合計	559	934
非支配株主持分	2,098	2,135
純資産合計	46,170	46,060
負債純資産合計	92,929	94,084

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	33,498	34,055
売上原価	29,129	30,296
売上総利益	4,368	3,759
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	430	383
給料及び手当	453	504
賞与引当金繰入額	139	148
役員賞与引当金繰入額	23	17
退職給付費用	14	21
福利厚生費	265	308
製品保証引当金繰入額	41	48
研究開発費	354	290
その他	825	824
販売費及び一般管理費合計	2,549	2,547
営業利益	1,819	1,212
営業外収益		
受取利息	28	22
受取配当金	107	93
持分法による投資利益	45	54
その他	60	31
営業外収益合計	242	201
営業外費用		
支払利息	61	74
為替差損	100	122
その他	1	5
営業外費用合計	162	202
経常利益	1,899	1,212
特別利益		
固定資産売却益	12	0
特別利益合計	12	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	11	15
課徴金等	12	7
特別損失合計	24	22
税金等調整前四半期純利益	1,887	1,190
法人税、住民税及び事業税	397	387
法人税等調整額	451	181
法人税等合計	848	569
四半期純利益	1,038	621
非支配株主に帰属する四半期純利益	66	75
親会社株主に帰属する四半期純利益	971	545

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,038	621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107	89
為替換算調整勘定	△891	325
退職給付に係る調整額	△17	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	△33	△0
その他の包括利益合計	△835	408
四半期包括利益	203	1,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	176	919
非支配株主に係る四半期包括利益	27	109

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,887	1,190
減価償却費	1,366	1,450
退職給付費用	△25	△9
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15	33
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△673	△617
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△72	△66
製品保証引当金の増減額(△は減少)	7	△6
固定資産除却損	11	15
固定資産売却損益(△は益)	△12	0
課徴金等	12	7
受取利息及び受取配当金	△136	△116
支払利息	61	74
持分法による投資損益(△は益)	△45	△54
売上債権の増減額(△は増加)	△1,528	△196
たな卸資産の増減額(△は増加)	△349	△787
仕入債務の増減額(△は減少)	1,509	279
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△209	191
その他の流動負債の増減額(△は減少)	518	1,068
その他	80	55
小計	2,417	2,506
利息及び配当金の受取額	189	280
利息の支払額	△60	△74
法人税等の支払額	△397	△475
課徴金等の支払額	△561	△241
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,586	1,995
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7	△7
定期預金の払戻による収入	72	314
有形固定資産の取得による支出	△1,569	△1,724
有形固定資産の売却による収入	29	0
無形固定資産の取得による支出	△138	△210
その他	△1	△140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,614	△1,767
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△144	692
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△99	△1,270
自己株式の取得による支出	△0	△667
配当金の支払額	△477	△397
非支配株主への配当金の支払額	△51	△72
その他	△127	△113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△900	△831
現金及び現金同等物に係る換算差額	△201	112
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,129	△490
現金及び現金同等物の期首残高	11,965	13,826
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,836	13,336

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月18日開催の取締役会決議に基づき、自己株式373,500株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が667百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が1,569百万円となっております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準(IFRS)を適用する在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」(2016年1月13日。以下、「IFRS第16号」という。)を、当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これにより、借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末のリース資産が448百万円増加し、流動負債のリース債務が88百万円及び固定負債のリース債務が362百万円増加しております。当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)3	合計
	日本	米国	欧州	アジア	中国	計		
売上高								
外部顧客への売上高	14,896	7,629	1,114	4,452	5,161	33,253	244	33,498
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,354	44	155	16	449	2,019	831	2,851
計	16,251	7,673	1,269	4,468	5,610	35,273	1,076	36,349
セグメント利益又は 損失(△)	389	271	△272	609	709	1,708	46	1,755

(注) 1. 当社は、生産・販売体制を基礎とした当社・現地法人のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「欧州」、「アジア」、及び「中国」の5つを報告セグメントとしております。

2. 各報告セグメントに属する主な国又は地域

欧州……………チェコ・ロシア・ドイツ

アジア……………タイ・インドネシア・ベトナム

3. 「その他」の区分は、報告区分に含まれない事業セグメントであり、運送業などを営む国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,708
「その他」の区分の利益	46
セグメント間取引消去	63
四半期連結損益計算書の営業利益	1,819

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 3	合計
	日本	米国	欧州	アジア	中国	計		
売上高								
外部顧客への売上高	14,868	8,872	636	4,602	4,875	33,855	200	34,055
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,502	44	127	15	428	2,118	820	2,939
計	16,370	8,917	764	4,618	5,303	35,974	1,021	36,995
セグメント利益又は 損失(△)	26	36	△299	642	562	967	43	1,010

(注) 1. 当社は、生産・販売体制を基礎とした当社・現地法人のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「欧州」、「アジア」、及び「中国」の5つを報告セグメントとしております。

2. 各報告セグメントに属する主な国又は地域

欧州……………チェコ・ロシア・ドイツ

アジア……………タイ・インドネシア・ベトナム

3. 「その他」の区分は、報告区分に含まれない事業セグメントであり、運送業などを営む国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	967
「その他」の区分の利益	43
セグメント間取引消去	201
四半期連結損益計算書の営業利益	1,212

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

販売の状況(連結)

(単位:百万円)

営業年度 用途	前第1四半期連結 累計期間 (2018年4月1日 ~2018年6月30日)		当第1四半期連結 累計期間 (2019年4月1日 ~2019年6月30日)		差引		前連結会計年度 (2018年4月1日 ~2019年3月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)	金額	構成比(%)
自動車用	23,741	70.9	25,087	73.7	1,346	5.7	97,771	71.8
建設産業機械用	7,491	22.3	7,371	21.6	△120	△1.6	30,342	22.3
空調機器用	1,476	4.4	906	2.7	△569	△38.6	4,602	3.4
その他	789	2.4	690	2.0	△98	△12.5	3,408	2.5
合計	33,498	100.0	34,055	100.0	557	1.7	136,125	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。